

みなさんの願いしっかりうけとめ

福祉の復活 介護の前進へ

がんばっています



切実なねがいを署名に託す区民（7月10日西新井駅で）

日本共産党

6月議会で日本共産党区議団は、長期不況のもと、区民にいつそうの痛みを押しつける鈴木区政と正面から対決し、介護保険料・利用料を減免する条例案を提出するなど、悲痛な区民の声を取り上げ奮闘しました。暮らしを応援する区政の実現までご一緒にがんばりましょう。

介護の保険料・利用料 減額・免除の条例案を提出

「お金がかかるから（介護サービスは）受けられない。やめる」という九五歳のお年寄り。「受けた人があきらめてしまつ。介護保険って何のためにあるんだらう」というボランティアの方…。

加えて十月からは高齢者の保険料が今の倍になります。このままでは、負担にじつと耐えながら、かろうじてサービスを利用していらっしゃるお年よりも、次々と利用を縮小さざるを得ません。

日本共産党は、こうした区民の声と願いにこたえて、安心して介護がうけられる制度に改善するために、「保険料・利用料を減額免除する条例案」を提出しました。

やる気になれば すぐにもできます

日本共産党の予算修正案で示したように、保険料は住民税非課税の方はすべて減額か免除をし、利用料は所得に応じてゼロから半分の程度に負担を減らしてもかかる費用は六億二千万円です。

昨年、介護保険で予定外に浮いたお金、七億円を使えば、すぐに

介護予防プランへの支援

すべての高齢者が対象となる介護保険外の予防施策を総合的につけられるようにするために、都の制度も活用して予防プランをつくるようにすべきだ」と迫りました。区は、「実施にむけて検討する」と約束しました。

日本共産党は「住宅改修や生活支援ヘルパーなどすべての高齢者が対象となる介護保険外の予防施策を総合的につけられるようにするために、都の制度も活用して予防プランをつくるようにすべきだ」と迫りました。

でもできます。すでに都内の六割（六二区市町村のうち十五区二市二町一村）の自治体で軽減策が実施されています。

自民、公明、民主 が区民の願いに 背を向け否決

これに対し、自民党は「選挙目当てに減免を要求している」「介護保険制度の根幹を破壊しかねない」と反対し、公明、民主とともに否決しました。

区助役

「（減免している）他の自治体の方が問題」と発言
都内の多くの自治体で実施している保険料・利用料の減額、免除について、中野助役は「（減免している）他の自治体が非常に問題があることをやっている」と答弁しました。



都議会議員
渡辺やすのぶ

「私たちをなんとか助けてください」という悲痛な声にこたえて、切りすてられた福祉の復活、介護保険の減免など、都民要求と公約実現に全力をつくします。

みなさんと力をあわせがんばります

(○印は副委員長)

各委員会の担当が
変わりました

総務委員会	針谷みきお さとう純子
区民委員会	鈴木秀三郎 ぬかが和子
厚生委員会	大島芳江 橋本ミチ子
建設委員会	渡辺修次 村田晃一
環境清掃委員会	今井重利 伊藤和彦
文教委員会	小野実 鈴木けんいち
議会運営委員会	大島芳江 針谷みきお 渡辺修次
公共財産等活用調査特別委員会	大島芳江 針谷みきお
交通問題対策特別委員会	鈴木秀三郎 橋本ミチ子
住宅政策調査特別委員会	渡辺修次 ぬかが和子
行政改革調査特別委員会	小野実 さとう純子 村田晃一
中小零細企業経済対策調査特別委員会	今井重利 伊藤和彦 鈴木けんいち



発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 大島芳江
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 TEL 03-3880-5770 FAX 03-3880-5682
足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp
日本共産党のホームページ http://www.jcp.or.jp

いまこそ政治の転換を

痛みに耐えている区民を 守ることこそ自治体の役割

お金の使い方を換えれば
区民のくらしは守れます

日本共産党



**助成金が減らされ
運営が大変**

老人クラブ助成金四割カットで、六つのクラブがなくなると聞きましたが、人ごとではありません。今までのような行事をやれば会費を値上げせざるを得ない。お年寄りの楽しみを奪うもので許せません。

(老人クラブ役員)

**生業資金借りられず
困っている**

四月から区の生業資金の貸し付け対象が非課税世帯に制限されてしまった。うちは息子が勤め人で住民税を納めているため申し込むことができなかつた。区は不況で苦しむ個人事業主の実態を知らないのか。

(内装業・男性)

**敬老入浴券
「五枚はひどすぎる」**

年間十枚でも少ないお年寄りの風呂券を、五枚でガマンしろと言ふのはひどすぎる。日や曜日に関係なく入れる風呂券だから、せめてもとにもどしてほしい。

(朝市で女性・七五歳)

**「構造改革」の名で
痛み押しつけ**

鈴木区長は六月議会のあいさつで、小泉総理の「構造改革」に「同感」とのべ、「ある程度の痛みは避けられない」と、不況に苦しむ区民にさらしに追い討ちをかけようとしています。

**「『都合主義』の財政運営
に与党からも疑問**

鈴木区長は三ヶ月前の三月議会で「財政再建団体に転落する恐れすらある」と財政の危機的状況を強調して、老人クラブ助成金の削減など区民サービスを各分野で切り捨て、痛みを押し付けました。ところが六月議会では一転して、区の財政は「暗雲がほほ消え去り」「自治体再生」の「高い峰に挑

**区民の切実な
願いを取り上げて**

日本共産党は、代表質問で区民のきびしい生活実態を取り上げ、介護保険の減免や老人クラブの助成金復活など区民の切実な願いを実現するために予算の裏づけも示して提案してきました。今こそ、大企業まかせの庁舎跡利用計画、2・2・2住宅プランなど開発優先の区政から、区民を守る区政への転換が求められています。

戦する」とのべました。あまりの変わりように与党議員からも疑問の声があるほどです。

ある時は、区民施策切り捨てに都合よく、ある時は、大型開発を進めるために都合よく、財政状況を解釈するといふことではないでしょうか。



**くらし切り捨ての勢力
議会の民主的ルールもふみにじる**

自民、公明、民主の各党は、5月の臨時議会で議席数に応じた議会役職の配分という20年来実行されてきた足立区議会の民主的ルールをふみにじり、4年連続で日本共産党を議会役職から排除するという暴挙を行ないました。

これらは区長与党の自民、公明、民主の三党が住民サービス切り捨ての議会運営をスムーズにするためです。

議会はそもそも政策・路線のちがう政党、会派によって構成されており、だからこそ民主的運営が保障されるべきものです。現に国会や、都議会をはじめ多くの地方議会では議席数に応じ役職配分をしています。

自民、公明、民主の策謀にもかかわらず、日本共産党は躍進した12議席と無党派の会議員の共同の力で、建設委員会と交通問題特別委員会の2副委員長を確保しました。

不法投棄対策の強化を提案

四月から家電リサイクル法が施行され、引取り料が高いため、不法投棄がふえています。

日本共産党は代表質問で国への家電リサイクル法の見直しを求めるとともに、区の不法投棄対策の強化を提案。都営住宅・公団住宅内のパトロールも、「要請があれば対応」することになりました。

「子どもたちの安全を」と申し入れ

大阪・池田市の小学校で六月八日起きた事件で、日本共産党足立区議団は十一日、教育委員会に「今日から始まる学校公開に、子どもの安全対策を万全に」と申し入れました。

区教育委員会は、申請のある学校には特別の人員配置、地域組織の協力、学校周辺へのパトカーの巡回、見学者には識別バッジをつけるなどの対策を明らかにしました。